

I 学年GSコース総合的な探究の時間

『大学連携セミナー（八戸工業大学）』を行いました！！

令和4年10月27日（木）、I 学年GSコース生徒対象に、大学連携セミナーを行いました。
八戸工業大学基礎教育研究センター 教授 川本 清 氏（かわもと きよし）氏を講師として迎え、
「探究活動における具体的な検証方法」について講義・実験を行いました。



実験 「紙ヘリコプターの設計」



科学に対する視野を広め、基礎的な探究力・表現力の向上を図ることができました。

12月には今回行った紙ヘリコプターの設計を、附属中2年生との協働演習で取り組みます。

（生徒の感想）

- ・紙ヘリコプターを中学生の時に作ったことがあったので耐空時間の長いものを作れる自信がありましたが、思いの外難しかったです。直交表を用いて改善したはずのヘリコプターが、一番耐空時間が短くなりました。なぜそのような結果になったのか、12月に行われる附属中学生との協働実験までに原因を考えてみたいです。
- ・グループに紙ヘリコプターの模型やプロペラそれぞれを作るのが上手な人がいて、実験はいろんな人がそれぞれの持ち味を生かすことで成功に繋がることがわかりました。
- ・今回の講義では、物理学について教えていただきました。研究の段階についての講義が印象的でした。理学と工学の違いはあまり明確ではありませんでしたが、基盤、基礎、支援の研究が理学系で、支援、技術、製品の研究が工学系であることがわかりました。
- ・私は自然科学部の研究で条件を複数変えて実験しようと考えて、結局条件を2つ程に絞らなくてはならなかった経験があります。しかし今回のセミナーで学んだパラメーター設定による検証方法を使えば、総当たりで調べなくても、複数の条件を調査できるとわかりました。今後の実験ではぜひ活用したいと考えています。